

第29回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

平成27年2月20日（金）午前10時00分から午前11時04分までの間

2 場所

警察庁庁議室

3 出席者

○ 委員

田辺 国昭 東京大学大学院法学政治学研究科教授（座長）
江尻 良 東海旅客鉄道株式会社広報部長
櫻井 敬子 学習院大学法学部法学科教授

○ 警察庁

栗生 俊一 官房長
沖田 芳樹 総括審議官兼審議官（国際担当）
島根 悟 政策評価審議官兼審議官（生活安全局・サイバーセキュリティ担当）
露木 康浩 審議官（刑事局・犯罪収益対策担当）
濱 勝俊 審議官（交通局担当）
牛田 克己 技術審議官
白川 靖浩 総務課長
山本 仁 給与厚生課長
小田部 耕治 生活安全企画課長
直江 利克 運転免許課長
筋 伊知朗 警備企画課長
佐野 裕子 総務課警察行政運営企画室長
和田 薫 警備課災害対策室長
名和 振平 警察大学校警察政策研究センター所長（オブザーバー）
田代 裕昭 科学警察研究所総務部長（オブザーバー）

4 議題

- (1) 国家公安委員会及び警察庁における政策評価に関する基本計画（案）について
- (2) 平成27年度政策評価の実施に関する計画（案）について
- (3) 平成27年度実績評価計画書（案）について
- (4) 総合評価書（災害に係る危機管理体制の再構築）（案）について
- (5) 事業評価書（子供女性安全対策班の設置）（案）について

- (6) 事業評価書（道路交通法の一部を改正する法律（平成19年法律第90号）により新設された規制）（案）について
- ・ 75歳以上の高齢運転者に対する認知機能検査の導入

5 報告事項

平成26年中に実施した事前評価について

6 議事要旨

- (1) 議題(1)から(3)について、総務課警察行政運営企画室長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員からの質問の概要は以下のとおり。
- 平成27年度実績評価計画書（案）の基本目標7「安心できるIT社会の実現」について、新設された業績指標である「事業者等との連携」について、現状や今後の見通しを教示願いたい。
 - 同じく基本目標7に関し、最もサイバー攻撃の標的となるおそれがあるのは国や地方公共団体であると思うが、そのケースも含まれるのか。
- (2) 議題(4)について、警備課災害対策室長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員の質問の概要は以下のとおり。
- 都道府県警察において実施した事項の中に、「協定の締結」が随分書かれている。アリバイ的に作っても意味がなく、現実的に動くか動かないかということが問われる局面に入っていると思うが、どのような状況なのか。
- (3) 議題(5)について、生活安全企画課長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員からの質問の概要は以下のとおり。
- 強姦・強制わいせつの認知件数について、被害者が13歳未満の数に限定すると、対策班設置後に増加しているようである。子供への対策と成人女性への対策とは違うように思うが、活動のウエイトはどのようになっているのか。
- (4) 議題(6)について、運転免許課長から説明がなされた後、質疑応答が行われた。研究会委員からの質問の概要は以下のとおり。
- 交通事故全体が減少している中で、ベースラインをどこに設定するかということを考えなければ、この法改正による効果自体を表すものとして少し弱いと思うが、いかがか。
- (5) 報告事項について、総務課警察行政運営企画室長から説明がなされた。研究会委員からの質問・意見はなかった。

以上